

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

令和元年7月1日

エリアデザイン調査特別委員会

# 速報版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

午後1時28分開会

浅子けい子委員長 それでは、皆さん全員お揃いなので、ただいまからエリアデザイン調査特別委員会を開会いたします。

浅子けい子委員長 最初に、記録署名員2名を私から指名いたします。

はたの委員、銀川委員をお願いいたします。

浅子けい子委員長 審査に先立ちまして、委員の皆様へ申し上げます。

本特別委員会の調査項目及び設置理由は、お手元に配付のとおりでありますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、今回は陳情等がありませんので、早速、報告事項を報告いたしたいと思っております。

1、綾瀬・北綾瀬エリアデザイン、2、花畑エリアデザイン、3、江北エリアデザイン、4、六町エリアデザイン、5、千住エリアデザイン、6、竹の塚エリアデザイン、7、西新井・梅島エリアデザインの取り組み状況について、以上7件、政策経営部長から報告をお願いいたします。

政策経営部長 よろしくお願ひいたします。

本日お配りしました資料の中にこの七つのエリアデザインの位置図というのがございます。各エリアにつきまして対象となる範囲を赤く枠取りをしているものが入っておりますので、これからの説明に対してご参照いただければと思っております。

それでは、エリアデザイン調査特別委員会報告資料、政策経営部の資料の1ページをご覧ください。

まず、綾瀬・北綾瀬エリアデザインの取り組み状況についてでございます。

本エリアは、綾瀬ゾーンと北綾瀬ゾーン、二つに分けてご報告をさせていただいております。

まず、1ページの綾瀬ゾーンでございます。

綾瀬駅前の開発予定地、こちらに関しまして、要望書を3月29日付け、地元の綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会より受理いたしました。そちらの要望書につきましては、8ページに添付をさせていただいております。その地元の要望を踏まえまして、区から駅前の住友不動産に、9ページにあります要望書を4月12日付けで提出をしておりますので、ご参照いただければと思っております。

また、(2)にあります綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画策定業務につきましては、記載の事業者に決まりましたので、令和3年度の策定に向けて作業を進めてまいります。

詳細な綾瀬の工程表につきましては、参考までに別紙3で10ページにお付けしておりますのでご参照いただければと思っております。

また、(3)です。綾瀬駅東口周辺地区におけるアンケート結果ということで、この後、北綾瀬も含めましてご報告させていただきますが、今回、しょうぶまつり、世界の食広場とハト広場でやりましたアンケートにつきましては、総数で1,496件、例年の倍近くのご意見をいただきました。まちづくりの関心の高さがうかがえる結果と思っております。

2ページの年齢層におきましても、かなり広い範囲の、広い世代の方々に今回アンケートに答えていただいたと思っております。

また、各駅の利用状況につきましては、直通運転の開通前と開通後で取っておりますが、やはり綾瀬駅から北綾瀬に若干人の流れがあるということが想定できる状況でございます。

アンケート結果につきましては、エ、オのほうで記載をさせていただいております。

(4)のまちづくり協議会第2回の開催状況と、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

あと、次のページ（５）に第３回のまちづくり協議会の開催内容を記載をさせていただいております。

３ページの２番の北綾瀬ゾーンについてでございます。

今回、補正予算のほうに計上させていただいております北綾瀬駅交通広場設置に向けた調査委託というところで、今回、４ページの上のほうにあります図、北綾瀬駅の北側のこの丸い調査力所、こちらに関しまして、現況測量や交通解析、その他の調査をする予定でございます。

また、（２）につきましては、第４回のまちづくり協議会、（３）につきましては第５回のまちづくり協議会の内容について記載をさせていただいております。

５ページです。（４）番、北綾瀬駅周辺におけるアンケート結果ということで、しょうぶまつりのときに合わせて、こちらのほうも北綾瀬のほうで取っております。総数については記載のとおりでございます。また、各駅の利用状況につきましても、やはり綾瀬と同様に若干の動きが出ているというふうに考えております。また、工にはまちに必要なもの、そういったものを、商業施設、駅前交通広場等のアンケート結果を記載させていただいております。

以降は、これまでの経緯を記載させていただいております。

続きまして、資料１１ページでございます。花畑エリアデザインの取り組み状況についてでございます。

１番の４月１９日、キャンパスの祝賀会のほうに多数の関係者、委員の方にもご出席いただきましてありがとうございます。

２番のほうは、それを受けて、現在の工事の進捗状況を記載しております。

以降はこれまでの経緯を記載しております。

すみません、１３ページです。江北エリアデザ

インの取組み状況についてでございます。

こちらにつきましても３月１０日に東京女子医科大学（仮称）東医療センターの祝賀会のほうをやりまして、議連を中心に多くの委員の方にご出席いただきました。まことにありがとうございます。

２番につきましては、江北駅から新病院名への駅名改称の取り組みということで、江北エリアにつきましても、病院を核としたまちづくりを進めていく中で、（１）にあります駅名改称の目的、そういったものをやりまして、足立区のイメージアップと認知度向上、あとは案内サインの充実ということで、病院利用者の利便性の向上、これを目指して周辺環境の整備の一環として駅名改称に取り組んでいる状況でございます。今、駅名表示案としましては、足立医療センター（東京女子医大附属）ということで協議をさせていただいております。

費用につきましては、今、２億円余ということで、もう少し削減できるように、今、東京都のほうと協議を進めている状況でございます。

６月１４日に、江北地区の町会自治会連絡協議会のほうにご説明に行きまして、再度、また８月１６日に説明を求められておりますので、その間も含めて丁寧に説明をしてみたいというふうを考えております。

（４）になります。次期手続でございますが、令和４年の春の改称に向けて、今年の、令和元年の秋頃に地元の合意をいただければ、地元からのご意見をいただければというふうに考えております。

（３）でございます。旧江北桜中学校跡地を活用した（仮称）江北健康づくりセンターの整備ということで、こちらにつきましても、ア、イにありますようなコンセプトで、東京女子医科大学病院の連携事業の強化、又はその医療と介護の連携体制の強化、こういったところをコンセプトに施

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

設を整備していきたいというふうを考えております。

予定地等は記載のとおりでございます。新設の機能につきましては、アにありますように、江北保健センター、あと、休日応急診療所、仮称の医療・介護連携センター、子育てサロン上沼田、こういった施設の複合施設を考えております。

15ページをご覧ください。この中で今現在想定しております仮想の床面積を記載しております。(4)にあります建設する上での制限、また(5)の課題等踏まえまして、今後具体的な運用内容も合わせて基本設計、実施設計の中で検討してまいります。検討結果につきましては適宜報告をさせていただきます。

16ページの4番でございます。まちづくり連絡会第6回の開催状況、また、東京女子医科大学東医療センター整備運営協議会の第3回の内容を記載をさせていただいております。

続きまして、17ページでございます。こちらには、現在の東医療センターの建設工事の進捗状況のほうを記載させていただいております。以下はこれまでの経過となっております。

20ページにあります、こちらがサインの完成イメージということで、駅名変更しますと、こういった形で駅本体、また、駅入り口、また、各駅の表示板等に各駅名等を含めて表示される予定で調整をさせていただいております。

続きまして、21ページでございます。六町エリアデザインの取り組み状況についてでございます。

六町駅前の区有地につきましては、東京都から通知されております土壤汚染の状況を表1のほうに記載をさせていただいております。

今後、土壤汚染の、汚れた土を除去した後に、1年間で大体4回地下水の採取をして、地下水の汚染が生じない状況が2年間継続することによって土地の引継ぎを受ける予定でございます。

22ページの(3)にありますように、東京都のほうと調整等図りながら、今後の区有地の活用について検討してまいります。

すみません、24ページでございます。千住エリアデザインの取り組み状況についてでございます。

1番は、第63回のまちづくり連絡会について記載させていただいております。

また、2番につきましては、配付をしましたまちづくりだより等も資料として……こちらのまちづくりだよりのほうの配布状況をご説明させていただいております。

また、3番の北綾瀬駅東口周辺地区のアンケート調査で浮き彫りになった問題点、要望につきましては(1)に区域内の居住者、(2)に区域外の居住者、別々に様々な課題を抽出して表示をさせていただきます。

4番にありますのは、平成20年に一度、まちづくり構想をつくった後の社会状況の変化と上位計画の改定状況について記載をさせていただいております。

27ページの5番にありますように、北千住駅東口周辺地区の今後の取り組み方針ということで、こちらの今ご説明しました改正点にあったことを踏まえて新たな視点と追加すべき事項を(1)と(2)に記載しておりますが、こちらを踏まえて新たな構想の策定を進めていくというスケジュールでございます。

6番のほうにはスケジュールを記載させていただいております。

7番は、大川端地区の開発の推進連絡会の開催状況でございます。

以降はこれまでの経緯が記載されております。

29ページになります。竹の塚エリアデザインの取り組み状況ということで、竹の塚のエリアデザイン計画の策定の業務委託の入札が記載の会社で決まったということで、今後、来年のエリアデ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

ザイン策定に向けて作業を進めてまいります。

また、2番にあります14号線の進捗状況につきましては、用地、現在、土地の取得面積が約9割というところで、今後、西口駅前広場の整備時期を踏まえながら、収用も視野に入れながら、令和2年度末の取得に向けて作業してまいります。

3番には、連絡協議会理事会の開催状況を記載しております。

以降はこれまでの経緯でございます。

31ページに用地の取得状況のほう、記載させていただいております。

32ページです。西新井・梅島エリアデザインの取り組み状況ということで、1番は東武鉄道との検討状況で、(1)にありますようなメンバーで(3)にあるような検討状況について記載しております。現在、西口駅ビル東武ストア入居者に関してです。こちらについて解体工事を、令和元年7月、今月着手するというような報告を受けております。

また、2番にあります西原駅東口周辺地区まちづくり協議会の開催ということで、これまで勉強会という形で開催してまいりましたが、7月をめどにまちづくり協議会として設立をして進めてまいりたいというふうに考えております。

また、33ページの西新井・梅島エリアデザイン計画につきましては、今後、記載の日程でオープンハウス型の説明会、また、住民説明会を開催しまして、今後の予定にありますように、令和2年の3月に、策定に向けて作業を進めてまいります。

失礼しました。4ページが梅田八丁目アパートの創出用地ということで、今回、創出用地の取得に向けて、35ページにあります要望書を本委員会にご説明した後に提出してまいりたいと考えております。

本用地の取得目的につきましては、梅田図書館等の老朽化した公共施設の再配置及び南北線の整

備に活用するためでございます。

以降はこれまでの経緯を記載させていただいております。

私からの説明は以上になります。

浅子けい子委員長 それでは、何か質疑ありませんか。

かねだ正委員 私からは大きく二つ質問させていただきたいと思っています。

一つ目は、江北のエリアデザインの取り組み状況についてなんですけれども、順調に開院に向けて工事は進んでいるのかなというふうには思っています。その中で今少し問題になっているのが、ご存じのとおり、江北駅という駅名から、いわゆる足立医療センターという形で駅名を変更するというのを今ご提示をして、地域にもご提案していると思うんだけど、そのことについて、今地域から反対の意見が上がっているというふうに聞いていますけれども、それについて具体的に教えてください。

経営戦略推進担当課長 6月の14日、地元の町会長会議の役員会のほうに出席しましてご説明したところ、20人会長いるところ、三、四名ぐらいの方から、やはり今現状の説明では納得できないということでご意見はいただいております。

かねだ正委員 もうちょっと具体的に言っていた方がいいと思いますよ。何の部分で地域が納得して下さっていないのか。

経営戦略推進担当課長 その会議の席上で一番言われていたことは、2億円という金額でございました。

かねだ正委員 うちの地域からも、この2億円かけて駅名を変更することが本当に意味があることなんだろうかというご意見が出ていると思うんですよ。これは、非常に、私自身はですよ、この2億円かけることによって、この足立医療センターという名前がきちっと駅名につくことによって、足立区は非常にイメージがアップしていくという

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

ふうになっているんですよ。その辺について、いや、本当に細かく、これだけのメリットがあるんですということをきちっと説明していくことが大事だと思うんですけども、どうですか。

経営戦略推進担当課長 我々も全く同様に考えておまして、2億円かけてやるメリット、今後、まちにとってプラスの面を、反対された方個別に、まずはもう1回ご説明申し上げようというふうに考えております。

かねだ正委員 ということは、この8月16日にもう1回、今度、再度説明会があるということなんですけれども、この場で決定というかご理解を再度いただくと。そこで、何て言うんだらう、最終決定ということではないわけですね。

経営戦略推進担当課長 この間、いろいろご意見いただいた方には、個別に回って、よく説明しまして、我々としては8月の16日の町会長会議でご理解とご賛成をいただきたいということで進めたいと考えております。

かねだ正委員 先々を考えたときには、今ここで、きちっと駅名変更しておく手続をしておくということが非常に大事なことだと思います。これがまた開院してからまた変えとか、そういうことになってしまうと、非常にメリッ的な効果も非常に少なくなると思うんで、是非それは地域のご理解をいただけるよう頑張っていたいただければと思います。

そうして、もう一つは、西新井の西口、やっと解体の計画が少し前に出てきて、少し状況が変化してきたと思うんですけども、現在の状況をもう一度詳しく説明していただけますか。

中部地区まちづくり担当課長 西新井駅西口の詳しくということですので、まず、先月6月21日に、現場の前に解体の標識のお知らせ看板を設置いたしました。今、その看板に記載されておりますが、7月22日、今月7月22日に解体工事で、来年、令和2年2月29日までで解体工事終わる

という情報を東武鉄道からお聞きしています。

かねだ正委員 これ解体をするということだと思うんですけども、では、解体して、その先、東武鉄道、どういうふうを考えていますか。

中部地区まちづくり担当課長 解体が終わりした後、東武鉄道との検討会の中で何回も、再三にわたりまして跡地の活用についてお聞きしておりますけれども、東武鉄道からは明確な回答はいただけていないところでございます。

かねだ正委員 東武鉄道も、これどうなのかなと思うことが非常に多いんですけども、普通は、先にこういうものをつくるから、こういう計画があるから、駅ビルを壊して、解体しますよというのが普通の流れだと思うんですよ。だけれども、何の計画も決まっていないうまま、あの駅ビルを壊すということですよ。

中部地区まちづくり担当課長 かねだ委員おっしゃるとおりでございます。

かねだ正委員 それは本当に誰が考えても……。ということは解体して、あそこは今のまま、しばらく放置をされるということになるんですよ。今、聞いている限りでは、東武鉄道は、東武鉄道は東口も含めて一体的に新しくしていきたいみたいなお考えもお持ちだというふうに聞いているんですけども、それについてはいかがですか。

中部地区まちづくり担当課長 駅周辺の施設について、東武鉄道の所有している建物につきまして、耐震上の課題があるということで、東武鉄道といたしましては駅周辺全体で考えておりますというお話ですけども、具体的には話が区には来ていないという状況でございます。

かねだ正委員 西新井の東口のビルは、あれは分譲マンションなんですよ。ね、分譲マンションを一体的に西口と合わせてやっていくということになると、所有者の方のご理解もいただかなきゃいけないということで、非常に長いスパンかかって、今のまま、言い方いけないですけども、地域の

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

方は本当にゴーストタウンになっちゃうよというふうに言っているんですよ。その状況が、これずっと続いていくということになると思うんですけども、区としてはどうですか、その辺の問題意識としては。

中部地区まちづくり担当課長 そのような長い時間、今の駅前が有効に使えないという状態が続くのは避けていきたいというふうには考えてございます。今、東武鉄道と協議の中で、全部を待つのか、順次改築をしていくのか、その辺を探りながら検討会のほうを進めていきたいと考えてございます。

かねだ正委員 中部地区まちづくり担当課長、今の中部地区まちづくり課長のお話を聞いていく中で、私すぐできるような気がしない。時間がかかるようにしか聞こえないですよ。東武鉄道が言うてくることをずっと待っていて、東武鉄道が計画を示していることをずっと待っていたら、これ待ちの姿勢に充てたら、全然、全然、東武鉄道も、東武鉄道はもうしばらく置いておこうかなというふうにお考えであれば、ずっとそういう状況ですよ。

だから、なるべく、やはり駅というのは、その地域、そのまちの顔ですよ、顔。西新井駅というのは、西新井という顔ですよ。他区からも、他都市からも、あの駅に来て、あの駅を見て、ああ、足立区はこういうところなんだなというふうに、そういうふうに思いますよ。

そこで、やはり行政として、足立区の今イメージアップと言っているんだから、そこを目指していくのであれば、全庁を挙げて、東武鉄道ときちんと交渉していくということ、その意気込みが大事だと思うんですけども、どうですか、長谷川副区長。

長谷川副区長 私も、西新井につきましては、東武鉄道と何度かお話を聞きました。ちょっとこの32ページの図を見ていただきたいんですけど

も、私も今、かねだ委員の言ったとおり、東武ストアの解体の予定はあるけれども、その後、今、閉鎖されている西口のトスカがどうなのか、それから、東口のトスカ、マンションも含めてどうなのか、全体計画はどうなのかということで東武鉄道のほうに確認をいたしました。

今現在で明確に言えることは、この、今、色塗りをしておりますけれども、東武ストア、それから、西口トスカ、それから、東口のトスカ、東口マンションにつきましては、耐震上問題があるということで、特に店舗系については、速やかに解体をしたいということでお話を聞いております。

ただ、東口のマンションにつきましては、今、かねだ委員おっしゃったとおり、分譲マンションですので、そう簡単には進まないということで、それから、時間的なスケジュールですね、私も当初、東武ストアを壊して、すぐその後の計画がなくて壊すなんてことがあるのかというふうに思っていたんですけども、東武鉄道とすると、この色塗りをしたところは全て耐震上課題があると。ただ、もう一つは、駅舎については耐震上問題がないという、そういう中で、耐震上問題ある建物について順次除却はしていくけれども、今現在の段階で、速やかに建て替えるのか、それとも、全体計画として考えていくのか、そこについては、まだ東武鉄道としても方針が明確には出ていないと。ただ、今具体的に言えることは、東武ストア解体後につきましては、西口トスカのほうは今閉鎖されておりますけれども、そちらについても一定程度除却に向けた手続を進めるといようなところまでは聞いております。

かねだ正委員 一部、私も西新井、地元なので、地元の方からなんかは、本当、冗談というような話だけでも、西新井駅がなくなっちゃうんじゃないとか、ちょっとどっかに移動するんじゃないとか、そういうふうな話が出るくらいですよ。そのぐらい、今、本当にちょっと悪い状況が続い

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

ているような形になっているので、是非、私も地元の議員ですし、地域の方々も、地域挙げてバックアップしていきますので、是非、東武鉄道と強い交渉をしていっていただきたいと思いますので、これは要望してきおきます。

工藤哲也委員 私のほうからは、北千住駅東口周辺地区のまちづくりについて伺いたいと思います。

今回アンケートの交通量の調査の結果が出ましたけれども、このアンケートで見えてきたもの、また、特筆的なことなども含めて、区としては総合的にどのような分析をされているのか、お聞かせいただけますか。

千住地区まちづくり担当課長 今回のアンケートについての特筆すべきというところで行きますと、ページ数で言うと、24ページ以降に書かれている内容になりますが、前回、平成18年度に行われたアンケートのときは、あくまでも居住者対象でした。今回は区域外居住者ももとより区域外居に住んでいる方、あと、来街者のアンケートを行い、やはり北千住に対するポテンシャル、まちづくり等の意気込み等が強く見られた。あと、災害についてなんです、やはり前回は地震災害はうたわれてはいたんですが、洪水という、近々、昨今の、いわゆる大規模水害等があって、あと、ハザードマップの発表もあってということで、非常に洪水に対する考え方も視野に入れた改正を行いたいなと思っております。

また、来街者のところの数字、26ページに記載されておりますが、やはり前回のまちづくり構想は平成20年に行いまして、その後、約10年の間に平日、休日というかなりの増加、来街者の増加等があるということで、やはりこの点も踏まえて、まちづくり構想の変更をしていきたい……アンケートの結果、あと、交通量調査の結果を生かしていきたいと考えております。

工藤哲也委員 住民の声が反映されているものでもありますので、今後のまちづくりにこういった

ものを是非生かしていただきたいと思うんですけども、今後の方針について、いかがでしょうか。千住地区まちづくり担当課長 今後の方針についても工藤委員おっしゃるとおり、地元の方、特に居住者の意見というのは非常に強いものと思っております。その中で、このアンケートをより分析し、あと、来街者の意見等もあるものをクロス集計して、より良い、より要望等の強いものに近いまちづくり構想をしていきたいなと思っております。

市街地整備室長 千住地区まちづくり担当課長が申し上げたとおりでございますが、今回浮き彫りになったというか、取り組み方針ということで、追加すべき内容、それから、加筆すべき内容が見えてきましたので、この内容をしっかりまちづくり構想に取り入れて、変更案を是非とも夏頃までにつくらせていただいて、その後、パブリックコメントや地元の皆さんにお披露目させていただき、意見を聞いて、まちづくり構想の変更をしていきたいと、このように考えております。

工藤哲也委員 是非お願いしたいと思います。

それから、3月のまちづくり連絡会では耐震助成についてのお話があったということで伺っておりますが、この助成制度の詳細について教えていただけますか。

市街地整備室長 3月のまちづくり連絡会では建築安全課のほうが行っている耐震助成のご案内をさせていただいたということでございまして、広く東口の地域の皆さんにその周知をするということで出席させていただいて、ご報告をさせていただいたところでございます。

工藤哲也委員 また別の機会で教えていただければと思います。

それから、先週でしょうか、6月27日の木曜日にも、直近でまちづくり連絡会が開催されたかと思うんですが、このときはどういったお話がなされたのか、何か変化があれば教えていただきたい



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

いですが、いかがでしょうか。

千住地区まちづくり担当課長 先週の木曜日、まちづくり連絡会等、北千住駅東口で行われました。まちの方からは、ある意味、再開発ということも一つのまちづくり手法ということで、特にその意見と一緒に北千住駅東口周辺、柳原とか日の出とか、その地域全体のまちづくりに対して、建設的な、かなりご意見があり、駅前だけじゃなくて地域の活性化をまず考えてほしいという意見が強く感じました。

工藤哲也委員 今後も丁寧な対応をお願いしたいと思います。

それから、お話変わりますけれども、千住大川端地区のA工区について伺いたいと思いますが、開発推進連絡会を4月に開催されているようですが、今までに、これ何回開催されてきたのか、また、この連絡会を通じて、出席者の方々の情報共有というのはきちんと図られているのか。また、現在のところの敷地の利用方法、利用の活動方法について、わかれば教えていただきたいんですが、いかがでしょうか。

まちづくり課長 昨年度は全体の連絡会が工藤副区長を会長として、これが2回ですね。それから、分科会、昨年度ですが、これが6回行いました。今年度はまだ1回でございますが、今月に分科会、これを予定しているところでございます。

それから、現在の土地利用の状況でございますけれども、やはりご案内のとおり、いろいろな、そのフットサルですとか、それから、タクシーの営業所ですとか、これは変わらず今まで営業しているところでございます。

工藤哲也委員 わかりました。

最後に1点、今後の大川端再開発の見通しと、現在の課題ですとか、問題点について教えていただけますか。

まちづくり課長 やはり開発をそのまま進められますと、これは議会のほうに報告しましたとおり、

児童・生徒数、いわゆる学校に影響が大きいと、そういった課題につきましては地権者3者のほうも十分認識しているところでございます。

また、開発者3者から、いろいろとご提供できるような土地というのも区のほうで考えてみてはどうだろうかという提案を受けていまして、その検討を今まさにやっているところというのが状況でございます。

長井まさのり委員 では、私のほうからも何点が質問させていただきます。

はじめに、綾瀬地域でございますけれども、アンケートを取ったということで、商業施設の店舗の充実だとか、また、早く開発を望むご意見であったりとか、また、歩行環境の整備などのお大変多くのご意見が見られました。現在、開発計画が凍結しておりますけれども、今後の見通しはどうか。また、区としてどのように努力をしていくのか。また、地元の意見の集約ということについてはどのように考えているのか教えていただきたい。

経営戦略推進担当課長 まず、質問の1点目なんですが、現在、開発が白紙に戻すという状態から現在まで動きは特にありません。

質問の二つ目なんですが、区の努力としましては、議会で昨年度答弁しましたとおり、秋頃には開発事業者へ要望を伝えるということで調整しております。また、要望するに当たっては、まちづくり協議会をはじめ今回のアンケートを含め、そういった区民の意見を取り入れて、要望等については考えていきたいというふうに考えております。

まちづくり課長 3点目のご質疑の地元の意見の取りまとめというところでございますけれども、7月23日にワークショップのほうを協議会で予定してございます。こちらのほうでしっかりと地元の意見をまとめて、このまちづくり構想案のほうに反映できればなというふうに考えているところでございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

長井まさのり委員 わかりました。

また、我が党の代表質問で、この駅前の土地の開口部に雨水がたまっていた状態で、蚊であったりとか、害虫の発生しないように、土地所有者に対策を申入れていただきたいと。対応を協議中とのことでしたけれども、進捗についてはいかがでしょうか。

経営戦略推進担当課長 この間の本会議答弁では、対応を協議中ということでご答弁させていただきましたが、先週の月曜日に住友不動産と、この件について協議をいたしました。住友不動産としましては、開口部に水がたまっているものについては水を抜く作業に着手するというので報告を、協議をしております。下水道局と今後、水を流す調整に入るということで、入り次第、水を抜くということで聞いております。

また、虫の対策、これ、虫の対策については、水を抜く作業を行いながら、防虫の対応については検討を進めていきますということで協議しております。

長井まさのり委員 わかりました。

また、水を抜く時期についてもはっきりしましたら教えていただきたいと思いますけれども、また、地元や区から要望した暫定利用についてはいかがでしょうか。

経営戦略推進担当課長 暫定利用について、4月に区から要望書を出しまして、住友不動産としては検討いたしますということで返事をいただいています。まだ、可能かどうかについて正式に回答はいただけていないところでございます。

長井まさのり委員 わかりました。

仮囲いの状態が綾瀬の地域のイメージダウンを招きかねないと、そうした強い懸念もございまして、引き続きどうかよろしく願いをいたします。また、学識や専門家を交えてアドバイスを受けながら、魅力あるこの綾瀬地域のまちづくりを推進すべきと要望してきましたけれども、具体的にはいかがでしょうか。また、地区計画について

も教えていただきたいと思います。

経営戦略推進担当課長 その辺の専門家の意見というところなんです、今年度より綾瀬エリアデザイン計画、3年度にわたって計画を策定してまいります。その策定するに当たって、そういった専門家を含め法律的な観点、若しくはそのまちづくり的な観点、そういったいろいろな方のご意見を伺いながら、まちづくり計画を進めていきたいと思っております。

まちづくり課長 地区計画制度の件でございますけれども、これは3月の議会答弁で、令和4年に制定したいというようなことでご案内を申し上げましたが、なるべく早めに頑張っていきたいと、今現在考えているところでございます。

長井まさのり委員 わかりました。

また、次に北綾瀬地域でございますけれども、駅前の交通広場が整備をされ、用途地域が変われば、商業施設であったりとか、また、バス路線の誘致なども可能性が見えてくるかと思えます。今回、調査委託を実施しますけれども、現状についてはいかがでしょうか。

まちづくり課長 私どもも、地権者の方にご了解をいただいて、私どもの見立てでもやはりこの地区に可能性の非常に高いというような認識を持っているのが現状の考え方でございます。

浅子けい子委員長 他に質疑ありませんか。

長井まさのり委員 はい、わかりました。

浅子けい子委員長 続きですか。

長井まさのり委員 はい、まだ終わっていない。

また、タクシー待ちの場所、現在、北綾瀬駅で何台、スペース確保しているのか。現状では何か1台もとまっていないという、そういう声も聞かれて、案内看板の設置などの要望する声もありましたけれども、これについてはいかがでしょうか。

交通対策課長 今、長井委員ご指摘のとおり、タクシー乗り場ができたんですけれども、ご利用していただける、まだ環境になっていないというこ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

とで重く受け止めているところでございます。

タクシーは3台とまれるスペースがございます。その後ろに一般の車両も1台とめるところがございます。これから、タクシー乗り場という60cm掛ける90cm、少し大き目の看板も現地のほうに7月中には設置したいというふうに考えております。

長井まさのり委員 わかりました。

では、7月中、設置で、よろしくをお願いします。

また、地域からは、駅周辺に金融機関の要望があります。ATMはありますけれども、時間帯によって大変列ができて、混雑している状況があります。まちづくりを進めていく上で、この地域の声をどのように受け止めて、そして対応しているのか聞かせていただきたいと思います。

まちづくり課長 協議会のほうでも、今現在、環七を渡ったところに1台キャッシュディスペンサーがあって、非常に並んで、危ないと。これは協議会としても意見が出ていますので、我々は今後、駅ビルの所有者ですとか、また、近隣で商業ビル所有者の方々、これは商店街の中にもいらっしゃいますので、なるだけ設置をお願いするような方向で、今後やらせていただければなというふうに考えております。

長井まさのり委員 わかりました。そうした地域の声をしっかり重く受け止めて、要望していただきたいと思います。

花畑地域でありますけれども、人道橋の建設に向け、草加市との費用負担はどうか、また、協定の締結についてはいかがでしょうか。また、谷塚駅からの通学路のルートについても、大変地域でも心配されておりますけれども、その点についても伺います。

まちづくり課長 まず、協定書の関係でございます。これは今まさに人道橋の費用負担について草加市と協議を行っているところでございます。年度末をめどに協定書のほうをまとめ上げればなと

いうふうに考えておるところでございます。

それから、通学路は、これもまだこれから文教大学側とご相談をさせていただくんですけども、文教大学側のほうは、やはり自分たちのほうでいろいろとルートのほうも考えているところがございますけれども、水神橋を渡って、都営住宅の前辺りを左折して入ってきて、大学の南側のほうで入ってくるようなルートが今のところ想定できるということは伺っていますが、今後またちょっと詰めていきたいというふうに考えてございます。

長井まさのり委員 費用負担については、協定の締結の際、明確になってくるかと思っておりますけれども、また、通学路のルートについても交通の誘導員を配置するなど、しっかり工夫をしていただきたいと思っております。また、文教大学側は茨城県とか

埼玉県からの学生を呼び込みたいということで、六町駅からの大学を結ぶバス路線も要望しておりますけれども、それについてはいかがでしょうか。交通対策課長 今、長井委員ございましたように、文教大学、やはりTXの六町駅からということで、大学のほうで直接東武バスのほうにもご依頼をされておまして、先日、東武バスとちょっと打合せする機会がございまして、いかがというかと

いうことで確認しましたところ、東武バスの中で、今どこを通して、花畑のほうへ向けて走らせるかについて検討しているというところでございます。長井まさのり委員 また、では、検討を重ねながら、そういった実現に向け、努力していただきたいと思っております。

最後に六町地域でありますけれども、この土壤汚染対策法によって、汚染土壤の掘削除去後、汚染が生じていない状態が2年間継続することを確認とあります。更に基準値の超過が認められた場合は、改めてその後の2年間継続調査となります。

更に、例えばその基準値の超過が認められた場合は、また再度2年間という形になるのでしょうか。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

資産活用担当課長 そうですね、土壤汚染対策法では、まず、土壤の汚染状況が指定基準値に適合しない土地については、要措置区域又は形質変更時要届出区域として指定されます。今回の六町駅前区有地では形質変更時要届出区域として、まず指定されています。今回、形質変更時要届出区域を解除するためには、水質汚染のない状態が2年間継続している地下水モニタリング記録等の措置が適正に行われたことが確認できる記録の提出が必要となります。そのため、今回の水質汚染のない状態が2年間継続している地下水のモニタリング記録等が必要となるので、基準値、今、長井委員おっしゃったような基準値が超過されたものが発見されると、再度2年間のモニタリング調査が初めからもう一度開始する必要があります。

長井まさのり委員 地下水ですから、今後もそうしたことが継続して出てしまうことが予想されます。そうしたら、2年間、2年間ともうずっと継続、継続となりますけれども、今後こういう状態をどのように対応していきますか。このままでいきますか。

資産活用担当課長 長井委員おっしゃるように、土壤汚染、素直に2年間のモニタリングで改善されれば一番いいんですけども、もし基準値が超過されて、何度もモニタリングが必要という状況になった場合、区としてそのまま駅前区有地の活用ができないということは区の損失でもありますので、その場合はもう一度立ち止まって、その辺の検討をするべきかなとは考えております。

資産管理部長 基準値は若干超過をしているという状況でございますので、確実に白の結果が出るような対策の方法はどういったようなことがとれるのかということで、東京都とも綿密に打合せ、調整を続けていきたいと考えております。

長井まさのり委員 また、モニタリング調査の状況を踏まえて、再度のサウンディング調査なども検討していてもいいかなと思いますけれども、

いかがでしょうか。

資産活用担当課長 長井委員おっしゃるように、サウンディング調査やるべきかというお話ですけども、今回の土壤汚染で駅前空地の公募が延期をされたことを受けて、公募を受けて、以前、サウンディング調査、実はしています。その関わった民間企業から実は問合せが今ございまして、現時点においても当該地に対する活用の可能性について興味があるご意見を伺っております。

そのため、今回、ここでサウンディング調査を実施するとまではこの場ではちょっとまず申し上げられないんですが、まずは、民間企業に迷惑をかけない程度に、ちょっとヒアリングのほうを実施したいと考えております。

長井まさのり委員 わかりました。よろしく願います。

じゃ、最後に、安全安心ステーションの設置に向けたスケジュールについて伺います。

経営戦略推進担当課長 現時点では、2021年の3月末を予定しております。

浅子けい子委員長 他の方。

くじらい実委員 竹ノ塚駅のエリアデザインについて質問させていただきます。

先週末、踏切のほうを通りまして、6月28日の終電から上りの急行線が場所を移動されて踏切のほうも移動されたということで、着々と高架化のほうの工事は進んでいるかと思えます。

そこでお伺いしたいんですが、東口のほうにありますUR、これが昨年ストック活用計画からストック再生計画に変わりをまして、また、今後、竹ノ塚駅のUR団地の建替えに伴って、また今後、竹ノ塚駅のまちが大きく変わるチャンスだと考えておりますが、今回、竹の塚エリアデザイン計画策定業務委託の入札結果ということで出ております。今後2年間で、これがどのような計画策定に向けて進めていくのかをお伺いいたします。

また、合わせて、すみません、URと東武鉄道

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

とまちづくりの検討しているとお聞きしておりますが、現在どのような検討を行っているのか、合わせてお聞きします。

経営戦略推進担当課長 まず、ご質問の1点目、竹の塚エリアデザイン計画、こちら2年間でどのようなものをつくるのかというご質問のほうにお答えしたいと思います。

この2年間をかけて、竹の塚の30年後どんなまちにしていくのかというのを現状を分析して、区民の意見を聞いて、我々、どんなことをやって、30年後こうしたまちにしますというのを2年間かけて策定したいというふうに考えております。竹の塚整備推進課長 UR、東武鉄道とのまちづくりの検討というところのご質問でございますけれども、今年度は、竹の塚のまちづくりを進める上で、現在の前提条件の整理や課題の把握等を行っているところでございます。

今後は区が主体となって広い視点から、UR、東武鉄道、区の施設も活用した竹の塚の将来像のまちを描きまして、にぎわいのあるまちづくりを進めていきたいと考えております。

くじらい実委員 すみません、今のエリアデザインの計画策定の件なんですけれども、これは東口、西口も含めた計画と考えてよろしいでしょうか。

経営戦略推進担当課長 東口、西口含めてになります。今回、委員の皆様方に資料として配付していますが、こちらの図がお手元にあるかと思うんですが、基本、こちらの円の範囲と言いますが、ここを範囲として、まちづくりを絵を策定していきたいというふうに考えております。

くじらい実委員 ありがとうございます。

そうしましたら、2点目なんですけれども、区画街路の第14号線の進捗状況なんです、今回こちらで取得面積は90%ということで、残り5軒ということになっております。これを見ると大体どちらのところが残っているかなというのは大体想像つくんですけれども、これから先、令和2

年度末の用地取得を目指しているという形で書いておりますが、今度は西口の駅前広場ですね、駅前広場の整備も含めて今後の整備スケジュール、どうなっているか教えていただきたいと思っております。竹の塚整備推進課長 今後の整備予定についてですけれども、残りの用地につきましては地権者の方々に丁寧に説明をさせていただきながら、今後も継続的に交渉を進めてまいります。

西側の駅前広場の広場整備につきましては、仮設の地下通路を埋めた後に、令和4年度末の完了を予定しているところでございます。

浅子けい子委員長 他にありますか。

はたの昭彦委員 すみません、報告に沿って何点か質問させていただきます。

まず、綾瀬のエリアデザインについてなんですけれども、この間、綾瀬の駅前の住友不動産の用地については、土地活用の在り方を見直すということで白紙撤回ということだったんですけれども、この点について具体的にどういう見直しということなのかというのは、区はつかんでいるというか、話、聞いていることあるんでしょうか。

経営戦略推進担当課長 土地の活用から、在り方から見直すというところから、特段、それ以上の情報は今のところ、我々持っておりません。

はたの昭彦委員 素直に土地活用の在り方を見直すとなると、今まで住友不動産がマンション事業用地として、あの土地を取得したけれども、今後についてはマンションだけじゃない選択肢もあり得るというふうなことも考えられるのかなと思うんですが、それについていかがでしょうか。

政策経営部長 その白紙のところについて、私たちも興味のあるところなので、繰り返し確認をしているんですが、全てについて今、白紙ということで、具体的に何か考えがあるわけではないということを繰り返しご回答いただいているところです。

はたの昭彦委員 区として綾瀬の駅前の顔でもあ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

る非常に大きな土地で、今後の綾瀬のまちにとって非常に大きな発展の可能性を持つ土地なわけです。住友不動産が事業の採算性だとか、今後の2020年問題、今後、バブルみたいに崩壊するようなことを考えて、例えば土地を分割して売っちゃったなんていう話になっちゃったら、それこそとんでもない話で、そういうことは是非ないようにしていただきたいと思うんですね。そういった意味では、今後のまちづくりを含めた住友不動産と一緒に、一緒にまちづくり考えていくという方向性はつかんで離さないようにしていただきたいと思いますんですけども、いかがでしょうか。

経営戦略推進担当課長 はたの委員おっしゃるとおりだと私も思っております、やはり我々も住友に要望していかないといけない反面、住友も、住友不動産もまちづくりをする仲間だということで交渉も必要だと思いますので、両面で進めたいというふうに考えております。

はたの昭彦委員 そういう一緒に考えていくという仲間ということで、先ほど、長井委員のほうから質問があって、土地の暫定利用について要望を出したけれども、検討するという報告があったというお話、回答があったということなんだけれども、綾瀬の地域の方たちは、あの駅前の白い工場フェンスを早く撤去して欲しいということなんです。私も、よく綾瀬駅利用しますし、夜なんか歩いていると非常に寂しいですし、駅前の顔とも言えるところがずうっと工場のフェンスで、もう長期間にわたって囲われているということでは、本当に、先ほどまちのイメージダウンという話になりましたけれども、今時点で、綾瀬を降りた瞬間に綾瀬のまちのイメージダウンになっているわけです。そういう意味では検討するではなくて、一刻も早く撤去を、まず、仮囲いを撤去をして、その後については、例えばあの辺に植木を植えるとか、仮囲いじゃなく、安全上の問題はあ

り、少なくともそういうことをやった後に暫定利用どうしようとか、そういうことも含めて考えていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

政策経営部長 前回、私たちも5月に現地を開発業者のほうと立会いをしました。はたの委員おっしゃるとおり、私たちもなるべく早く仮囲いを外したいという思いは同じなんですけど、ただ、かなり開口部、場所が多いということと、水がたまっている、あとは、かなり段差があったり、コンクリートが劣化してでこぼこしている、そういう情報を確認しましたので、今の状況で少し開放するのはかなり危険なのかなというふうに認識しております。

その中で安全策をとりながら、早期に開放できる策については、向こうの回答を待つだけではなくて、こちらからも提案をしていきたいというふうに考えております。

はたの昭彦委員 その上で、先ほど、今、開口部が多くて、その段差もいろいろあるということ、これ、暫定利用するに当たっては、構造物の撤去ですとか、段差を平らにするとかということではかなりの費用がかかると思うんですけども、その辺の負担については、区も暫定利用ということをお願いをするわけですから、少しぐらいの負担というか、やっぱり住友不動産だけに負わせていると、なかなかそこでは判断が遅くなってしまふのかなという気もするんですけども、その辺についてはどのようにお考えでしょうか。

経営戦略推進担当課長 暫定利用については、区の負担も含めて協議させていただきたいということ、向こうには申入れております。

はたの昭彦委員 是非一刻も早く綾瀬駅前を、あの寂しい状況を何とか前へ進めて、少しでもにぎわいを取り戻せるように進めていただきたいと思います。

次に、江北エリアデザインのところ、先ほど、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

かねだ委員のほうから、駅名についても出たんですけれども、2億円の費用のことということで、私たちはそう思っていなかったんですけれども、この間、区が、やはり財政の厳しさをずっとずっと強調する中で、地域の中では、足立区、お金が非常に大変だというのが一定広がっていて、そういう声が出ていると思うんですね。駅名の変更については、私たちは賛成でも反対でもなくて、やはり地域の声をまず第一に生かしていくということで、地域の合意形成が非常に大切だと。この江北という駅名についても、地域の皆さんから声をいただいて決定をした経過があるわけですから、そういう意味では地域の皆さんに合意と納得の上での駅名変更するなら変更していくということが大事だと思いますけれども、いかがでしょうか。

経営戦略推進担当課長 その点についてははたの委員のおっしゃるとおりだと思っております、6月の町会長会議でも反対を声にしていただいていた方、三、四名でした。全体からしたら決して多数ではないんですが、ただ、数が少なくとも、そこは個別に説明して十分ご理解をいただけるように足を運んで努力したいとは考えております。

はたの昭彦委員 地域の声というのは、町会自治会長だけではありませんし、地域に住んでいる皆さんが、どう考えていくかが大事なわけですから、そういう方の意見も踏まえて、慎重に決定していただきたいと思います。

次に、六町のエリアデザインで、先ほどいろいろ質疑ありました。1点だけ確認したいんですけども、土壌汚染地、未受領地のうち的一部分なんですけれども、汚染水が生じていない状態が2年以上継続をすることを確認しないと、この土地の利用というのはできないということで、理解よろしいでしょうか。

資産活用担当課長 先ほどもちょっとお話しさせていただいたように、形質変更時要届出区域を解除するために、2年間のモニタリング調査で基準

値を超えていないという、そういう確認が必要ということなので、汚染があったまま活用するということもできないことではありません。

はたの昭彦委員 そうですね。豊洲市場がそうだろうから、そうなんだろうなと思って、ちょっとそれ確認だけさせていただきました。

次に、北千住東口周辺まちづくり構想についてお聞きをしたいと思いますけれども、この北千住東口周辺まちづくり構想の中に、千住旭町地区計画というのがあるんですけれども、この二つの関係性について教えていただけますか。

千住地区まちづくり担当課長 まちづくり構想が仮に今年度策定したとすると、今後、駅前ないし開発も含めて地区計画等を考えていくというところのあくまでも手段として、今、計画を実施してまいりたいと考えております。

市街地整備室長 地区計画は、まちづくり構想を実現する一つの手法ということで、我々は考えております。

はたの昭彦委員 今回、北千住東口周辺まちづくり構想の見直しがされていまして、今回いろいろアンケートを取っていますけれども、まちづくり構想の改定がイコール地区計画の改定にはならないということだと私は思うんですけれども、それでよろしいでしょうか。

市街地整備室長 地区計画をかけることを前提に、現在、まちづくり構想を見直しているわけではなく、まちづくり構想の変更計画を実現するために地区計画を策定するという手法を、今後、やるか、やらないか考えていくと、そういうことになります。

はたの昭彦委員 ですから、今回のアンケートとか、パブコメとか、地域の皆さんの声を聞いて、前回の構想から10年経過をして、加筆とか、新たな視点で加えるべきとか、追加する内容はあるけれども、まちづくり構想の変更があったとしても、まちづくり、地区計画の変更が必要かどうか

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

というのは構想が出ないとわからないということ  
 でよろしいですね。

千住地区まちづくり担当課長 はたの委員のおっ  
 しゃるとおりでございます。

はたの昭彦委員 それで、今回、北千住東口の市  
 街地再開発準備組合が二つできて、今、話が進ん  
 でいるんだけど、本来ならば、民間企業が開  
 発するに当たっては、今ある地区計画に基づいて  
 計画を、まずつくっていくべきものなんだと私は  
 思うんですけども、その辺についてはどうでし  
 ょうか。

千住地区まちづくり担当課長 今の地区計画もや  
 はり10年とか時間がたっているのと、あと、今  
 の地区計画は東京電機大学が開学したときとい  
 うところも含めると、修正もある意味考えていかな  
 いといけなかなと思っています。

市街地整備室長 今後しっかり考えていくとい  
 うことでございます。

はたの昭彦委員 いや、何でそういうことを言う  
 かと言うと、建設委員会が今回、条例が出されま  
 したよね、足立区宅地開発事業調整条例。これ、  
 まちの開発やるに当たって、要綱はあるんだけど  
 も、なかなか守っていただけないということで、  
 やっぱり法的な規制というか、やるために条例に  
 するんだということで、守ってもらうための変更  
 なわけですね。

そういう意味では、北千住の東口についても、  
 今ある地区計画、その条例の東口旭町の地区計画  
 は、今あるんだから守っていかなきゃいけないわ  
 けで、それに基づいてやるのであれば別に問題な  
 いんだけど、それを変更することを前提に市  
 街地再開発が計画されるのはおかしいし、そうい  
 うことがあってはいけないと思いますけれども、  
 いかがですか。

まちづくり課長 当時のご要望でも、駅前にふさ  
 わしい、千住駅前にふさわしいというところがや  
 はり10年前のアンケートでも、今回も大きいと

ころでございます。しかしながら、駅前のにぎわ  
 い地区、今回A街区、南街区、北街区というこ  
 ろですけれども、こちらは、やはり公共負担、駅  
 前の道路ですとか、公共負担がかなり伴うと。そ  
 うするとやはり街路事業だけでは、なかなか進ん  
 でいけない、公共事業は進んでいけないというこ  
 ろもございますので、また、地権者の方々も何  
 かしら違う方法で一緒になって共同建替えなんか  
 やっていききたいなんていうのが自発的にそういう  
 声が出ていますので、我々はまちづくり構想を見  
 直すというところでございます。

市街地整備室長 地域の皆さんがご理解いただい  
 て、こういうふうに進めていきたいということ  
 であれば、地区計画を前提としたまちづくりとい  
 うものは変更する必要があればそれは変更していく  
 というふうになると思いますし、変更すべきでな  
 いという形になれば、それは、地域の方たち、お  
 住まいの中の皆さんがそういうことを言えば変更  
 はできないと思いますが、現在、我々の見立ての  
 中では、地域住民発意で二つの準備、再開発の準  
 備組合ができていているということは、10年前に比  
 べて、地域の皆さんのお考えが少し変わってきて  
 いるところがあるかなというふうに認識してい  
 るところでございます。

はたの昭彦委員 いや、それは住民発意というの  
 は、私は違うと思いますよ、この間、北側ちょっ  
 と私あんまりつかんでないのでわかりませんけれ  
 ども、南側については住友不動産が地元に入って  
 繰り返し勉強会を行ってきたと。そういう中で、  
 地域の人たちに、個人負担がなくてマンションの  
 部屋をもらえますよみたいな話でどんどん進めて  
 行って、準備組合ができてきた。それで、準備組  
 合ができたなら、すぐ理事だか何かに住友不動産が  
 おさまって、説明会についても住友不動産が主導  
 でやっているわけだから、これはやはり住民主導  
 ではなくて、南側については住友不動産主導でや  
 っているとしか私は見えないし、地域からもそう



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

いう声がやはり上がっているということでは、住民主導では絶対、絶対とは言わないけれども、一面ではないと思います。

それで、必要があるか、ないかということであれば、区域内の居住者アンケートというのを今回取って、私も見ましたけれども、確かに10年前に比べると、10年、日にちは経過をしていて、東京電機大学がなかったのができた。それはまちづくり構想の中で取り組んできて進んできたことなんでしょうけれども、例えば災害とか、確かに洪水などの水害という面はなかったかもしれないけれども、災害に強いとかというまちづくりというコンセプトはこれまでも入っていたし、高齢者が生活しやすいとかという話も入っているわけですし、そういった意味では、そんなに今回のアンケートをもとに構想の見直しと言ってもそんなに大きな変更が生じるようなアンケート結果で、私はないと思うんですけども、それについてはどうでしょうか。

まちづくり課長 ご要望の中では、やはり駅前のにぎわいづくりですとかが、やはり10年前からもまだ我々も十分では思っていないというところがございます。何もその10年前の全てが我々変えるというところではございませんので、当然そのときに、そういう問題というのがあって、まちづくりを進めたいというのがありました。そして、10年たって、やはりいろいろ、準備組合が出てきていますので、これは引き続き一生懸命まちづくりを進めていこうというところのあらわれでもあろうかと我々は認識してございます。

市街地整備室長 現在、我々のほうで取り組みさせていただいているまちづくり構想の変更案の作成、こちらのほう、できるだけ早急につくりまして、変更案でございまして、その案を、議会、地域の皆様にお示しさせていただいて、ご吟味をいただきたいと。それから、その次の段階に移っていきたくて考えております。

はたの昭彦委員 そうですね、是非、素案を早く出していただきたい。ただ、繰り返しになりますけれども、市街地の、大規模開発のためのまちづくり構想ではあってはいけないし、その地区計画の変更ではあってはいけないということは指摘しておきたいと思います。

最後に、西新井の駅の話なんですけど、先ほどもかねだ委員のほうからもいろいろ出ていましたけれども、私も、解体する時点で計画が全くないというのはあり得ないと思うんですね。これは、特に、この駅舎の改築が絡んでくることなんですけど、どう見ても、西口の解体すれば、駅の昇降の階段も撤去するとかと、そういう話も出てくるわけですから。

今、JRの御茶ノ水駅が駅舎改築しておりますので、私は3カ月に1回ぐらい御茶ノ水に行く用があるんですけど、10年ぐらいずっと見ていて、もう10年ぐらい駅舎の改築工事やっているんですね。それぐらい駅舎の改築というのは電車を運行しながら大変なわけなんです。そういう意味では、東武ストアの改築をして、この駅舎も含めた構想をやるとすると、本当に10年、15年という計画のスパンで、長いスパンの計画で、少なくとも、どの辺に仮設の、例えば、階段を撤去するときに、仮設の昇降口にするのか、本設は改めて移動してつくっていくのかというぐらいは、計画ぐらいはやっぱり持っているんじゃないかと思うんですけども、それについては全くわからないということなんでしょうか。

中部地区まちづくり担当課長 まことにすみません、その部分については東武鉄道からのご報告はないという状況でございます。

はたの昭彦委員 この間、鉄道立体化についても足立区の税金を、かなりお金を投入していて、東武鉄道に対しては、非常に足立区貢献しているわけですよ。今回の西新井のこの駅舎を含めた駅周辺のまちづくりについては、工事期間中も区民に対

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

して、今もそうですよ、東武ストアを閉鎖して、西口のトスカも閉鎖して、買物するの困っているという声がいっぱい出てる中で、地域の住民に凄いい、もう迷惑をかけているわけですよ。今後工事が始まれば、それでもまた迷惑かけるわけだから、そういう意味では、区民の協力をなくしたら、この駅舎も含めた、東武ストアの建替えも含めて、順調にいくことはできないという意味では、もっと強く東武鉄道に情報を開示して、地域の住民に、しっかりと協力を求めながら進めていくべきだと思いますけれども、その辺についてどうでしょうか。

市街地整備室長 はたの委員おっしゃるとおり、東武鉄道には私どもも強く要請をしております。東武鉄道は、現在、検討していないのではなく、どういう方法で次に何を進めていけばということを社内でしっかり検討しているというふうに聞いております。検討中ですので、まだ我々のほうにどういう状況かというのをお知らせいただけない状況ですが、社内の中でも、しっかりそういう検討を進め、これから、我々に情報をいただけるというふうに聞いておりますので、情報がいただけるまで、もうしばらく、申しわけございませんが、お待ちいただければというふうに思います。

はたの昭彦委員 だから、それは、やはり区として、例えば期間決めて、3カ月後とか、半年後にはある程度の方向性出してくれとか、やはりそういうことで交渉していただきたいと思いますと思いますが、いかがですか。

工藤副区長 皆さんにご心配をおかけして本当に申しわけございません。先ほど長谷川副区長のほうからも答弁ありましたけれども、協議を精力的に今進めているところです。

まだ本音はわかりませんが、多分、東武鉄道としては将来のことを考えると、大体の駅は改修していきたいのではないかな。ただ、それには区の協力がどうしても、必ず伴ってくる。その

辺でどういうプランをつくっていくのかというところがこれからのポイントになってくるかと思えます。

いつまでかというお話ですが、東口のマンションの地権者の組合ですか、管理組合のほうが一応建替えを前提に今後、協議をしていくというようなことで合意形成が図られたようですので、おおむね1年ぐらいをめどにその辺の意向を決めたいということですので、その辺にならないと、実際の具体的な協議というのは進んでこないのかな。そこまではもう少しお待ちいただきたいなと思っています。

浅子けい子委員長 他に。

大竹さよこ委員 私からは江北エリアデザインについてお聞きさせていただきます。

3番にございます旧江北桜中学校跡地を活用した(仮)江北健康づくりセンターの整備について、こちらは、江北エリアデザインは本当にたくさんの特に病院を中心とした様々なまちづくりが行われようとしている中で、江北桜中の跡地につきましては、なかなか地元の方がまだ存じていないという状況があるかと思うんですが、この江北桜中の跡地活用につきましては、いつ地元のほうに詳しい説明があったのか、お聞かせいただけますでしょうか。

経営戦略推進担当課長 江北健康づくりセンターを整備していくという具体的なスケジュールについては、この議会で今回ご報告させていただいて、予算も審議いただいて成立いただいたので、この議会の後に、地元のほうには説明していきたいというふうに考えております。

大竹さよこ委員 そうしますと、ここに書かれております15ページにスケジュールの予定とございます。今年の9月、今が7月ですから、あと2カ月後には基本設計が大体でき上がってくるのかな。ここから14カ月かけて基本設計等がされるのかなと思いますが、この基本設計でき上がっ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

たときには、これ議会のほうにもしっかりと報告があるのでしょうか。

経営戦略推進担当課長 当然、議会のほうにも報告をしながら進めていきます。

大竹さよこ委員 というのは、戻ります、14ページにございますが、新施設の機能というところで、例えば江北保健センターがこちらにできますよと。また、休日応急診療所や、そして医療・介護連携センター、また、子育てサロン上沼田、こちらが移転をして、この江北桜中の跡の江北健康づくりセンターにできるということでございますので、これはやはり移転を伴うことになります。現在使用されている方、江北保健センターが今ある場所で使われている方ですとか、また、子育てサロン上沼田に使われている方にもしっかり丁寧に説明申し上げて、ご理解をいただいた上でこの新江北健康づくりセンターの整備になるのかなと思いますが、この辺りはいかがお考えでしょうか。

経営戦略推進担当課長 大竹委員のおっしゃるとおり、今ある施設を移転するものについては、今ある施設の付近に住まわれている方は一定のちょっと不便と言いますか、遠くなるということなどもございますので、その辺り、丁寧に対応していきたいというふうに考えております。

大竹さよこ委員 また、新しくできます健康づくりセンターでございますが、地元のほうからも、様々な期待の声が出てくることかと思えますけれども、特にこの江北エリアの、確か調査をしたときに、ここは健康というテーマでまちづくりをす。そして、弱みというところで歩行環境が余りよくないですねとか、また、高齢化率が非常に高いといったところもございました。是非この江北健康づくりセンターの中に、地元の方々が、特に介護予防という意味でも、健康体操などができるような、そういった多目的ホール、そういったものをつくっていただきたいというお声がござい

ますが、これに関しては区のほうにはこういった声は届いておりますでしょうか。

経営戦略推進担当課長 地元のほうからも、何かしら、地元のほうで使える多目的な広場、部屋を、整備して欲しいという声は聞いております。

大竹さよこ委員 是非、区民の方々の健康・福祉向上、そういったものを兼ね備えた建物にしていただきたいなというふうに要望させていただきます。

また、東京女子医大の隣に、隣というか近くにできるということでございますので、今後も当然病院との連携における様々なイベントだったり、また、健康、ここにもありますけれども、健康教室を開催するとか、そういったこともございます。是非、以前より、我が党から要望しております、ここに女性の健康相談センター、こういった機能を持たせた、機能を持たせたというか、女性健康相談センターの設置ということに関しては、区はどのようにお考えでしょうか。

衛生管理課長 現在、東医療センターでは、女性の専門外来やっております。聞くところによりますと、移転しますと、その機能も女子医大のほうは持ってくるということは聞いてございます。合わせて、今現在、保健センターのほうでも女性に関する健康相談等をしておりますので、その機能はいろんなところあるということで区は認識しているところでございます。

大竹さよこ委員 こういった保健センターができたときに、ここに女性の健康相談センターができましたよと、そういった看板があるだけでも女性の皆さん相談しやすいかなというふうにも思いますので、是非、要望しております女性健康相談センターの設置につきましても前向きに検討していただきたいと思います。

あと、もう一つ、今、東京女子医科大学（仮称）東医療センターとなっておりますが、仮に足立医療センターという名前に、これなるのはいつ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

頃になるのでしょうか。

経営戦略推進担当課長 まだ正式に、いつ、この名前が決まって、いつから使うという話は聞いてございません。もしそういう情報が入りましたら、速やかにご報告はさせていただきたいと思います。大竹さよこ委員 そうしますと、駅名は先ほどから話ありましたが、駅名は足立医療センターと。そして、新病院の名前はまだその時点では決まっていないという、そういう状況になり得る可能性はあるのでしょうか。

経営戦略推進担当課長 これ、東京女子医大側と相談して駅名変更で議会説明、地元説明で話を進めるに当たっては、足立医療センターという名称を使っていいということでご理解いただいて、今こういった形で、議会、地元には説明しております。

大竹さよこ委員 すみません、もう少しはつきり聞きたいのですが、この病院の名前が決まるのと、この駅の名前が決まるというこの時間列というんですかね、それはどのような予定でいらっしゃるのでしょうか。

経営戦略推進担当課長 すみません、そこについてははつきりと確認しておりませんので、ちょっと確認させていただきたいと思います。しばしお時間のほういただければと思います。

大竹さよこ委員 すみません、最後に、駅名が先に決まって病院の名前が後というのもこれも変な話かなとも思いますので、その辺はしっかりとやっていただきたいと思いますし、先ほど様々な委員からございました、この駅の名前を変えることに関しましては、しっかりと地元の皆様にご理解をいただいた上で、そして、当然、足立区の、区の皆様のご意見もしっかりといただきながら、丁寧に進めていただきたいと思います。これは要望で、よろしく願いいたします。

へんみ圭二委員 まず、西新井の件について、西口ご利用の方々から、もうエスカレーターもエレ

ベーターもなく、こんな急な階段をこの年になって上がるのはつらいというふうなお話もたくさんの方々から伺いましたし、そのことについてはもちろん区の皆さんもよくよくご存じだと思いますので、まず、その部分について、駅を利用しやすいようにということで全力を挙げていくべきだというふうに思いますが、先ほどの駅ビルの解体のことについて、先日、とある方から解体後の計画が何も決まっていないというような状況を、このままだと綾瀬駅の東口みたいになっちゃうんじゃないかというふうに言われました。綾瀬で生まれ育った人間としては、その悪い例として綾瀬が取上げられてしまっているというのは非常に悲しい思いがしますが、その解体した後の状況がどのようになるのか、例えば綾瀬の東口のように、白い仮囲いをずっとされる状態になるのか、それとも、暫定的にでも活用できるような状況まで東武鉄道のほうでは考えているのかという部分についてはいかがなんでしょうか。

中部地区まちづくり担当課長 解体後、ちょっと色はわかりませんが、やはり仮囲いで囲うというお話を伺っております。

あと、それと、東武鉄道としては暫定利用は検討していないということをお聞きでございます。市街地整備室長 東武鉄道は、暫定活用についてはなかなか難しいという見解を示しておりますが、その敷地を使って、例えば仮設の階段、出入口等を設置するのがいいのか、本設のものをどこかに設置するのがいいのかというところを、今、検討しておりますので、そのままの状態にしておくというよりは、何かしらの工事は入るかなというふうに思っております。

また、今使われている階段とエレベーターございますが、これはトスカの建物の一部になっておりますので、トスカの解体をする際には、そちらのほうをやはり撤去する必要が出てくるとなると、先に仮設の階段なのか、本設のものになるのかと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

いうところを今検討しているというふうに聞いておりますので、我々のほうも、そういうような、できるだけ動きをして欲しい、動きを見せて欲しいというふうにしっかり要望しているところでございます。

へんみ圭二委員 エレベーターはありましたね。ただ、エスカレーターみたいなものがやっぱり欲しいというような話も多かったですし、白い仮囲いにするということ、白かどうかかわからないですけども、仮囲いをするという状況が、どれぐらい状況が続いてしまうのかというのは、先ほどからのお話のとおり、いつまで検討するのかわからないという部分になってくるということなんですかね。

市街地整備室長 できるだけ東武鉄道には、期間を切って、これまでに何とか回答して欲しいというように要請をして、交渉のほうを進めさせていただきたいと思います。

へんみ圭二委員 こんな言い方するのは自分でも悲しいんですが、綾瀬の東口のように、2年以上もあの囲いの状態がずっと続いてしまうというようなことがないように、取り組みを必ず進めていくべきだというふうに思います。

次に、六町のことについて、土壤汚染が見つかったというのは、今年の3月議会にも突然報告があったという状況でありますけれども、この土壤汚染が見つかって3年を超えてしまうということは、区民の皆さんにはどのように周知されているのでしょうか。

資産活用担当課長 まだ区民の方には、この議会がありますので、議会後に何らかの形で報告するしかないかなと思っています。

へんみ圭二委員 ただ、3月の議会のときには、もう土壤汚染が見つかったということは議会のほうには報告がありましたから、その3月の議会の後に早急に地元の皆さんにお知らせをすべきことなんではないでしょうか。

資産管理部長 申しわけございません。今回お示しさせていただきました21ページのスケジュールの表も合わせまして、今後速やかに地元のほうにもご説明をさせていただきたいと思っております。

へんみ圭二委員 六町周辺の方々から、エリアデザイン決めるときには、いろいろと住民のアンケートを取ったりということで住民の意向は聞いてくれたけれども、ただ、その後どうなっているんですかという質問が来ますので、3年遅れる土壤汚染が見つかりましたというお話をするとほとんどの方がそんな話は何も聞いてないということになっています。

ですので、その辺りについてはしっかりと住民説明をまずしていただいて、そして、これからこのエリアデザイン計画、六町のエリアデザイン計画について、どのようにより良いものにしていくかということは、改めて住民の皆さんの意向をお聞きするべきじゃないですか。

政策経営部長 エリアデザイン策定してから、かなり日数がたっておりますので、当時かなり子育て世代の方からご意見いただいていたと思います。そういった方々も生活環境が変わっていると思いますので、また具体的に土地の活用の時機が見えたときに、丁寧に地域の声は聞いていきたいというふうに考えております。

へんみ圭二委員 わかりました。

江北の東京女子医大の件なんですけど、先日、女子医大のある関係者の方から凄く気になる話を聞きました。というのも、足立区のほうに東京女子医大が移動した場合に、今働いている医療従事者、かなりの人数が辞めてしまうんじゃないかというような話でありました。実際に、今、区としてはこの東京女子医大について駅名も変えて、区の内外にも足立区に大学病院がやってきたということをしてPRしていこうという状況の中で、実際に大学病院が来てみたら医療従事者が足りなくなってい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

た、人手不足になっていたということでは、これは、これほどがっかりしてしまうような残念な話はありませんから、その点について区としてはどのような認識をされていますか。

政策経営部長 今のところ、東京女子医大のほうから具体的にそういったところを危惧するところは聞いておりませんが、今回、病院と合わせて、寮をつくったりだとか、そういった部分で、就職しやすいような環境は整備してあると思いますので、今後、何か情報がありましたら、議会のほうにもご報告させていただきたいと思っております。

へんみ圭二委員 情報源の秘匿がありますから、具体的に誰から聞いたとは言えないんですが、ただ、やはり東京女子医大の中で、足立区に移ったらどうなるかという話をした場合に、うーん、ちょっと、足立区のあの場所に行くんだったら、辞めることを考えなくちゃいけないということも言っている方も多いということですので、その部分については是非、東京女子医大のほうでも、今働いている方々の意向を調査していただいて、そして、医療従事者が足りないということがないような体制づくりというのを区も一緒になってやっていくべきではないかと思うんですが、東京女子医大のほうに、今の働いている方々の意向調査というのは、お願いをすることはできないんですか。

政策経営部長 調査は可能かどうか聞いてみますけれども、今回、議会で、こういった委員会でこういった指摘を受けたということで改めて東京女子医大のほうには、協議をして、ちょっと改善策を検討してみたいと思います。

へんみ圭二委員 是非、万全の体制で大学病院が開設されるという状況になるように取り組みをしていくべきだと思います。

そして、綾瀬駅のことについてなんですが、綾瀬の東口の駅前のことについて、先ほどもいろいろと質問がありました。それで、まず暫定活用について協議をする中で、公費投入についても区と

して協議をしたいという申し入れをしているという段階であって、既にその公費投入について、区のほうから先方に対して申し入れてはいないということですか。

経営戦略推進担当課長 まず、暫定利用が可能かどうかの返事がもらえていません。それに先立って、区としては暫定利用に当たっては、区としての公費負担も検討しますので、それを含めて、暫定利用できる、できないというご回答くださいというところまで協議が進んでおります。

へんみ圭二委員 選挙にも絡んでの話だと思うんですが、いろいろと、区のほうでも土地を購入するという話になっているというようなことを言う方々もおりますし、その点について、実際、現状ではどうなのかという部分と、それから、その土地の活用ができるかどうかということの検討も、いつまで検討するのかということは住友不動産のほうに確認はとっていますか。

経営戦略推進担当課長 ご質問二つありましたので、まず一つ目、お答えします。土地の購入についてです。これについては、区としては土地の購入も含め、あらゆる方法を検討しますということをこのエリアデザイン調査特別委員会で答弁していますので、その可能性としては否定しません。ただし、購入する金額については、あくまでも財価審のつける金額の範囲内ということになりますので、路線価の金額になります。恐らく住友不動産から買うとなりますと、開発利益まで載せることとなりますので、そういった金額で買うことは難しいと考えています。

それと、二つ目、活用についてなんですが、現時点で住友不動産から、今後、いつの時期に何を建てる、どんなことをするというのは、先ほどの答弁のとおり、新しい情報のほうはございません。へんみ圭二委員 すみません、二つ目のところはちょっと僕の聞き方が悪かったのかもしれないんですが、暫定活用をするかどうかということにつ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

いて、いつまで検討するのかというところです。経営戦略推進担当課長 暫定活用、いつまで検討するのかということなのですが、それについて、うちのほうもいつまでにくださいという期間は区切っておりません。再三、6月に入ってから、我々催促していて、なかなか株主総会等で忙しいというご返事いただいております。それについては期限設けずに、早くご返事いただきたいということで、きょうこの委員会終わった後でも、電話でご連絡のほうは差し上げたいというふうには考えます。

へんみ圭二委員 その暫定活用、まずできるようにすべきだということが、こうして地域住民の方々からも声が上がっているわけですし、できるだけ早くできるようにということで、区のほうからも強く言っていくべきだなというふうに思います。

あと、建築制限条例の制定について、2022年よりも早く、できるだけ早くということ、先ほどお話もありました。できるだけ早くというのが最大限急いだ場合にどれくらい早くなるのかということをお話いただきたいと思っております。

まちづくり課長 これは、今、ご指摘いただいております住友不動産の計画ですとか、その他のいろいろ、まちの中の他の跡地利用者の方もございます。ただ、手続的にいっただけでも半年から1年かかりますので、令和4年にやるといったのが1年ぐらいいは早めることが可能ではないかと。ただ、それも今年度中ぐらいいは、いろいろなまちづくりの構想ですとか計画ができないと、やはりちょっとそこのところが進まない。令和4年が、頑張っでそこを1年程度早めにできるかなというところが私ども今の見立てでございます。

へんみ圭二委員 東口周辺地区まちづくり協議会に実際に参加されている方にもお話を伺ったところ、やはりこの建築制限条例について、もうできるだけ早くできるようにということで、地域とし

ても、もう一生懸命、区と一緒にやってやるんだという強い意志をお持ちですから、是非その部分について、区のほうでもスムーズに、早く制限条例を制定できるようにということで、地域の皆さんと一緒に汗をかいてやっていただきたいというふうに思います。

あと、仮設校舎で、交通広場の辺りのこと、部分は使われますけれども、仮設校舎の後の土地の利用については、まちづくり協議会の中で話というのは出ているんでしょう。

まちづくり課長 前々回の2回目のときに、若干ご提案その件もあるんだ、どうでしょうかということで、例えば池袋のジャンプ広場を見て欲しいですとか、それから、立川のまんがぱーくですか。こちらは参考になるよということで私ども現場の調査を行ってまいりました。それを前回の協議会のときにご案内をして、こういうのもありますよと。ただ、そういう施設を、では、旧こども家庭支援センターのところに入れる、入れないというのはちょっと置いておいて、いろいろ地元の皆様がたから意見が出たものについては、我々一生懸命勉強して情報の共有というの図ってまいりたいと、今後も考えております。

へんみ圭二委員 その仮設の後の活用についても、これから地域の皆さんと一緒に、今のような姿勢でやっていただきたいと思っておりますし、特に私は、あの部分については、図書館を核にして綾瀬のまちづくりというのを進めていくべきじゃないかというのは以前から本会議などの質問でも申し上げておりますし、地域の方々からも、やはり綾瀬の駅の近くに図書館があるといいよねというのは非常に多く声がありますから、そうした声も取り入れながら、まちづくりのことについて検討を進めていくべきではないかなと思うんですが、例えば図書館のことについては、今つくろうとしている3計画のほうでも考えていきますというお話が以前からありました。その部分について、今どうな

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

っていますか。

政策経営部長 具体的な文化、読書の3計画の中には、特に施設計画については、具体的な施設計画についてはうたわれていません。ただ、今後その3計画の中でうたった理念をどう実現していくかという中で、これからまた、建物施設計画等が議論されていくのかなというふうに考えております。

へんみ圭二委員 まちづくり協議会第3回の住民の主な意見として、東口駅付近だけではなく綾瀬地区全体のまちづくりを考えて欲しいという声があったということです。実際に西口のほうのまちづくりも考えていくべきだというのは、私も町会の方々からも話があるんですが、このときの意見で、具体的にどのような意見だったんでしょうか。

まちづくり課長 へんみ委員ご指摘のご発言のとおり、西口の、いわゆるところも、まちづくり進めて欲しいですが、それから、やはり他の委員会でもご指摘いただいています綾瀬川の護岸、こちらがやはり昔みたいにスーパー堤防というのはないんですけれども、護岸を眺められるようなまちづくりを進めてほしいなというご意見はいただいております。

市街地整備室長 委員の方たちには少しお話しさせていただいておりますが、まずは建築条例を先行してこの会で進めたい。その後、気運も見ながら、地域の、エリアの拡大というのも、この協議会の中で考えていきたいということもご提案いただいておりますので、前向きに考えていきたいと考えております。

へんみ圭二委員 今後、東口周辺地区まちづくり協議会ですから、西口周辺地区のまちづくり協議会というのも、これからつくられてもいいのかなと思いますし、是非そうした地域の声というのを取り入れていただきたいと思います。

最後に、先ほども北綾瀬駅のタクシーの3台、とまれるようになっているところにタクシーが全

然いないじゃないかという話でした。実際に僕自身も、見てみても、タクシーがとまっているというのは見たことがないものですから、その点についてタクシーの運転手をしている友人に話を聞いたら、そういうものができていること自体知らないということでしたので、是非、それはタクシー協会になるのか、組合になるのか、その辺りに、北綾瀬の駅の近くにそういうものができ上がっているよというお知らせをしっかりとまずすべきではないかなと思います。どうでしょうか。

交通対策課長 へんみ委員ご指摘のとおりでございます。私も4月以降、ハイヤー・タクシー協会の足立区支部というのをごさいます。そこでは、北綾瀬駅にこういう形でできているのでということでご案内させていただきました。また、タクシー、ハイヤーの方がどういうふうな案内表示ですとかがつけば使いやすいかということもその際に伺いまして、それを参考にさせていただきながら、周りのそういう看板ですとかの整理もちょっと考えていきたいというふうに考えております。

浅子けい子委員長 他に質疑ありますか。

石毛かずあき委員 初めて質問させていただきますので、確認の意味を持っていろいろとお聞かせいただきたいと思いますが、まず、大学病院の利便性についてご質問させていただきます。

今現在、病院までのアクセスというのは日暮里・舎人ライナー1線と、あと、はるかぜが1線というふうなお話も伺っております。今後、新田、宮城、小台みたいな、その病院までのアクセス困難な地域を含めて、新たなバス路線も整備されるというふうにご聞かしておりますが、そういった増えたバス路線を受入れると言いましようか、全て当然、おしべ通りにとめてやるということも考えられないでしょうか、そういった意味では、病院の周辺で検討されている周辺整備についてお聞かせいただけますでしょうか。



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

経営戦略推進担当課長 こちらについては、現在はおしべ通りにコミュニティバスが1路線だけなんですけど、石毛委員おっしゃるとおり、たくさんの病院にバス路線を呼び込むためにはそれだけでは足りないと考えております。このため、上沼田第6公園、病院の南側になりますが、こちらにバスを展開する機能を整備したいと考えております。これによりまして、区内ですと、北千住、西新井ですとか、あとは区外ですと、田端、日暮里、赤羽、王子など7路線程度、バス路線を引込んでいきたいというような考えで、今バス事業者と調整しているところです。

石毛かずあき委員 そのバスの停留所を含めて、その整備を含めて、あそこのおしべ通り、また、環七というのは緊急避難道路にもなっていますね。そこからアクセスするおしべ通りというのも、今後、無電柱化をするというようなお話を承っておりますけれども、もうそういった計画があったらまた教えていただきたいと思っておりますし、また、あそこ電柱というのは、街路灯が一体化になっている電柱ですね。無電柱化にすれば、当然、後々街路灯も設置しなければなりませんし、また、ある一定の明るさを確保するには街路灯だけではなくてバス停の設置とかいろいろ工夫があると思うんです。

なぜこういう質問するかと言いますと、アスファルトを整備した後に、また、じゃあ、こういったところに明るさを保つために新たなバス停をつけようとか、アスファルトを重ねて、毎回毎回同じような工事をするにも費用がかかりますから、そんなようなことにならないように、こういった意味では無電柱化、また、街路灯の確保が、たくさんの確保についてちょっとお聞かせいただけますか。

企画調整課長 東医療センターは、三次救急病院ということで、災害時のアクセスとして、やはり無電柱化は急がなきゃいけないなというふうに思

っております。今、具体的に設計に入っているのが、病院の周辺、周辺については、今年度、地下の調査をして、詳細設計をしてということで、できる限り、開院には形がなるような形を今考えてございます。

おしべ通りについては、統合小学校、あるいは江北の保健センターと、また、公共施設がずっと北に向かって進みますので、この時期に合わせて、できるだけ合わせて間に合うような形で今計画をつくり始めています。おしべ通り全体に関しては、今年度予備設計ということで、ちょっと行っていたいていまして、全体の無電柱化を含めて、あるいはバリアフリー化を含めたものを設計、予備設計に入っていくというようなことで、ちょっとその辺の整備時期まではまだ決めてないんですけども、今、準備をしているというような状況でございます。

経営戦略推進担当課長 あと、電柱に共架している街路灯の件ですけれども、こちら無電柱化いたしましたら、別途街路灯は整備していきます。

また、バス停と複数回、工事が競合するので、複数回掘り返すことのないようにという点ですけれども、その辺も、確かにこちらはたくさんの工事が錯綜いたしますので、工事間の調整をとって、そういったことないように対応していきたいと思っております。

浅子けい子委員長 石毛委員、質問は結構なんですけど、他の委員会と重なる部分がありまして、そこをちょっと精査してお願いします。

石毛かずあき委員 そうしましたら、最後に一つ要望させていただきたいんですが、千住のエリアデザインについて、この中で北千住東口周辺地区まちづくり構想の中で、区上位計画の改定についてありますけれども、その中でも水害に対する意識の向上というようなことは書かれております。当然、自然災害というのはいつ発生するかわかりませんが、昨年は大変多くの災害が起きました。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

また、昨日も大変、24万人以上の方々に避難勧告が出たりと、いつ災害が起こるかわかりませんから、この辺の千住地域、駅前だけでもなくても、千住エリアについて、そういった洪水に対する災害対策の意識の向上を進めるような、是非とも進めていただきたいというふうに思いますので、これは要望で終わらせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。失礼いたしました。

浅子けい子委員長 他に。

銀川ゆい子委員 私からも何点が質問させていただきます。

まず、綾瀬・北綾瀬デザインの取り組みについてなんですけれども、綾瀬ゾーンのところで、区としても、先ほど区民の意見をくみ取って要望を住友不動産のほうにお伝えしたいとあったんですけれども、まず、あそこの土地が住友不動産が持っているということで、区はどこまで住友不動産に要望を伝えられるのか、どこまで住友不動産がこちら側の要望をのんでくれるのかということをお聞きしたいということと、また、向こうが、こちら側の意図しない建築というか、ものを何か建てたいといった場合に、こちら側として制限することはできるのかどうか教えてください。

経営戦略推進担当課長 ご質問のまず1点目、どこまで我々の意向をくんでくれるのかということについては、現時点、交渉している中でどこまでくんでいただけるのかは何とも言えないところだと思います。我々としては、少なくとも区の考えなり、地元の意見を、まず伝えることが第一ですし、今後はやっぱりまちづくりの仲間として交渉していくことが大事だと思っていますので、極力、反映していただけるように最善の努力は尽くしたいというふうに考えております。

2点目の意図のほうなんですけど、開発事業者の開発の意図なんですけど、当初伺っていたのは、マンション計画をするということで、我々話を伺

っていました。昨年の12月に、ここのマンション計画については白紙に戻すということで、区の方にご報告ありまして、現時点、そこから動きがない状況でございます。

まちづくり課長 制限でございますが、建築条例関係の。これは地区計画を導入すると建築物の用途の制限が可能になります。したがって、駅前でございますから、やはり店舗ですとかそういう附置義務をつけて欲しいという条例は可能でございますので、我々はそんなような、ちょっと射程に入れているところでございます。

政策経営部長 今、まちづくり課長が答弁しました、これからの計画ということですので、現状で何か申請が出てくれば、それが今の法令に適用できれば、特に区のほうでそれを制限する手段はございません。

銀川ゆい子委員 この要望のところなんですけれども、多分、別紙2のところ、これ以前お伺いしたときに、こちらの要望についてまだ返事がないということだったんですけれども、今の段階でも返事は来てないんでしょうか。

経営戦略推進担当課長 現時点でも返事のほうはございません。これについては先ほどご答弁したとおり、再度、催促のほうはしたいと考えております。

銀川ゆい子委員 再度催促ということなんですけれども、先ほど秋頃にまた要望を伝えるというふうにおっしゃっていたんですが、それがまたこちら、ほぼほぼ同じものになりますでしょうか。

経営戦略推進担当課長 昨年度の本会議答弁で、今年度の秋頃までに、区としてはここの開発について、開発事業者へ要望を伝えるというふうの方針を持って答弁しております。ですので、あそこの開発、どういうふうにして欲しい、例えば商業のにぎわいだとか、歩道を少しつくって欲しいだとか、そういった方針を決めました秋頃には要望を伝えたいというのが今のところの考えでございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

ます。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

次なんですけれども、同じく綾瀬のところアンケートを、区民の皆様からのアンケートのところで要望で買物をしたいお店がない、商業施設、店舗の充実とか、あと、歩行環境とかということが書いてあるんですけれども、確かに今あそこは空き地になっていて、凄くもったいないなあと思うので、せっかくですので、その人を誘致できるような商業施設もつくっていただきたいですし、あと、私が思うのが、朝とか夕方とか綾瀬へ行くときがあるんですけれども、私が行くときとか結構、いつ行ってもタクシーが渋滞してクラクション鳴らされたり、歩行者の方がちょっと危ない目に遭ったりするんですけれども、区としてあそこを開発できるということであるならば、何を優先して、一番取り組んでいきたいと考えていらっしゃるのでしょうか。

経営戦略推進担当課長 その駅前、東口の駅前の目指すべき方向性ということについては、昨年の12月のエリアデザイン調査特別委員会のほうで報告したんですが、今、方針としては四つ持っております。

一つが、駅前の顔づくりとにぎわいの創出が一つ目でございます。二つ目に歩行空間の安全性と回遊性の向上、三つ目に区有地、こども家庭支援センター、そちらの区有地を活用したにぎわい拠点の形成、四つ目に高架下の利便性改善というふうに四つの方針を持って今取り組む方向で考えております。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

要望がまだ返事がないということなので、是非とも区の職員の方も、私たちもそうですけれども、一緒に頑張らせていただいて、区民の皆様意見をくみ取った施設とか、交通の便が良い場所になっていけるよう私も要望させていただきたいと思っております。

次になんですけれども、江北エリアデザインの取り組み状況について、先ほどかねだ委員からも幾つか質問ありまして、駅名についてなんですけれども、反対する声がちょこっとあると。これから丁寧に説明をして、説得をしていくということだったんですけれども、その丁寧な説明をした上でもやっぱりその江北という名前に愛着を持っていたりとか、あと、その費用のことで反対という方は、もしかして出てきてしまうかもしれない。そういったときに、たとえ少数のそういう反対の意見があったとしても、そこはある意味無視して、この駅名変更してしまうのか、それとも、最後の1人までちゃんと説得するようにして、駅名変更に取り組んでいくのか、どのようにお考えでしょうか。

経営戦略推進担当課長 我々としては、皆さんにご理解と賛成をいただきたいということを目標に頑張りたいと思っています。ただ、これについては、進捗状況について、どの程度の反対なのか、どの程度の声なのかについては、また議会のほうに報告させていただいて、また議会の皆様のご意見はそのとき伺いたいと考えております。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

次に、千住エリアデザインの取り組み状況についてなんですけれども、24ページ、区民の区域内居住者のアンケート調査結果というところで、ほとんどの方が何らかの方法でまちづくりに参加したいというふうに答えていらっしゃるんですけれども、このような熱意を持った人たちを動かしていくには、今後、区としてどんな呼び掛けを行っていくのか。また、こういう人たちにどのようなまちづくりに、どのようにまちづくりに参加しているのか、そのような計画があれば教えてください。

千住地区まちづくり担当課長 確かにアンケート調査結果を見ますと、何らかの方法でまちづくりに積極的に参加したいとか、協力を求められれば

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

参加したいという、かなりのパーセンテージになっているところで、今後、区としましては、一番はこういうまちづくりだよりじゃないんですが、区からの情報発信につきましては、逐次行っていきたいと思っておりますし、今、まちづくり協議会、連絡会でございますが、町会の代表者とか、商店会の代表者で、まず骨子をつくりまして、検討いたしまして、それを今後、地区住民の方々に説明会等を行って意見交換をして作成してまいりたいと思っております。

浅子けい子委員長 よろしいですか。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

次になんですけれども、27ページ、今後の取り組み方針のところ、2の加筆すべき内容のところ、飲食店テナントだけでなく、日常買物ができる商業施設の誘導というふうにあるんですけれども、商業施設というものは具体的にどのようなものをイメージしていらっしゃるのでしょうか。その地元の商店街の皆様に配慮したものをつくらせていただけるのでしょうか。

千住地区まちづくり担当課長 このアンケート結果で出ております日常買物しやすいまちという中では、いろいろと分析している中で、マルイとかああいう大きな百貨店というか、お店というイメージじゃなくて、日常的なもの、日常のものがある意味、1カ所です揃うとか、そういうところの商業施設を要望しているということで、これを今後、整備を考えていきたいなと思っております。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

それは大きな商業施設、アリオとか、マルイとかもそうですけれども、あれぐらいの大きいものではないということですね、中規模というか、何と言ったらいいかわからないんですけれども。

まちづくり課長 まだ、その具体的な商業施設、どういうものかということまでははっきりしてございません。ただ、地元の皆様方の要望としては、日用品がもうちょっと手軽に買えればなとい

うご意見がちょっと出ているようなところでございます。

銀川ゆい子委員 ありがとうございます。

最後に要望なんですけれども、商業施設、再開発とかによってそのまちが発展していくことは私も凄くうれしいことだと思っております。ですけれども、やはり昔からある商店街、もちろんその地元の方の、その商売の繁栄ということもあるんですけれども、商店街だと、やはり1階にあるということで、ちょっと足の悪い高齢者の方とか障がい者の方もすぐに入って買物をする事ができる、大きな商業施設だと、もうお店に入ってもそこから歩いて行かなければいけない、エスカレーターとかに乗らないといけない、そういうことでちょっと不便が出てしまうということもあるようなので、できる限り、商店街、この足立区の本来に一つの大きな財産だと思いますので、商店街を大事にしながら、高齢者の人たちとか障がい者の人たちにもやさしいまちづくりを進めていただければと思います。要望でございます。ありがとうございます。

浅子けい子委員長 要望ですね。

他に報告事項について。

にたない和委員 エリアデザイン全般の情報分野について質問させていただきます。

まず、アンケートであるとか、様々な街頭でのアンケート収集であるとか、そういった部分で広く皆様からご意見いただいていると思うんですけれども、例えば町会、自治会などを限定しないで、一般の方から情報を収集している、そういった機会という部分に、情報収集に限った部分で言えば、どういった機会があるのか、いま一度ちょっと整理して教えていただけますでしょうか。

経営戦略推進担当課長 例えばエリアデザイン計画、昨年度、江北と北綾瀬で策定しました。それについては、街頭で、駅とかイベントのときに来店しまして、不特定多数の方からご意見聞いて

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

おります。

あと、もう一つ事例で申し上げますと、鉄道立体推進室のほうが、高架下の利用について区民からアンケートを取っているんなご意見を伺いました。各個別に沿って、そういった区民のニーズは引上げていまして、それについてはそのつど、こちらの委員会で報告させていただいております。にたない和委員 ありがとうございます。

この情報の展開の仕方についてなんですけれども、あだち広報であるとか、ポスティングであるとかそういったものをやられていると思うんですけれども、他にも何かやられている活動であるとか、情報の展開の仕方というのはありますでしょうか。

経営戦略推進担当課長 情報の展開というのは、PRということでしょうか。PRについては、基本、我々でしたら、まずこちらの委員会で出した後、町会で説明して、ホームページで出すと。記事によってはあだち広報で出す、あと、SNS等で区民への周知を図ると。基本、周知すべきものについては区で使える媒体を全て使っております。

にたない和委員 ありがとうございます。

この資料とか見ても、1日1,000件以上で、この前のしょうぶ沼のやつに関しても、かなりの皆様のご協力いただいていたとか、あと、広報紙を見ても、凄くわかりやすく書いているんですよね。そういった部分で、本当に情報の展開の方法についても大変工夫されているんだろうなと思うんですけれども、一方で、今の方法というのが、普段、例えば区政に余り関心持っていない方であるとか、子育て世代であるとか、今働き盛りで、例えばもう朝、通勤ラッシュのときにパーッと行って、現役の世代とかそういった部分で様々な取り組みをしているのにも関わらず、皆様にとっては白い壁で囲われて、何も情報がない。私たちというのはこういった場で情報をいただいているの

で、何て言うんですかね、こういった情報の場で情報をいただいているので、要はハウレンソウがないと無駄に時間だけ長くなると、疑問を持ってから無駄に何時間が長くなると、やはり不用意な不満だったりというものが発生してきてしまうと思うんですけれども、そういった点、エリアデザインについての情報の展開の仕方、教えてください。

政策経営部長 委員会等で周知した内容につきましては、先ほど言ったオープンハウス型説明会もあるんですが、各イベントのときにブースを出して、一般区民の方にご説明をしたり、あとは地域によってはこういった形でまちづくりニュース等で広くお伝えしたり、また、こういったものを町会、自治会の回覧版、また掲示板に載せていただいたりとか、あらゆる手法について取り組んでいるところですが、これについては100点ということはありませんので、今後とも何か新しい手法があれば、それは様々な手法を活用して、広く一般区民の方に周知を図りたいというふうに考えております。

にたない和委員 エリアデザインとして、例えば綾瀬であるとか、西新井であるとか、江北であるとか、花畑であるとか、そういったところ白い壁がいっぱいあると思うんですね、白い防護壁ですかね、そういった場面において、このエリアデザインの取り組みを説明するようなパネル、そういったものというのは、例えば、事業者と協働で情報展開をする、そういったことをお願いするにはどういった障壁があるのか、検討されているのか、そういったところを、要はエリアデザインに配属になったと地元の方に説明しても、エリアデザインって何なのというところからスタートになっちゃうんですね。白い壁に囲われているけれども、実際問題、どういったものができるのかわからないと、そういったところでもかなりお声をいただくんですけれども、そういった、例えば西新井ひとつ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「\*」で表示しています。

にとってみても、東武鉄道のほうにお願いして、このエリアデザインでこういった段階でいるのか、まだ決まってないことでも、今取り組んで、皆様から声をいただくとしているわけじゃないですか、そういったものを説明する、そういった展開の方法というのはご検討可能なんでしょうか。

経営戦略推進担当課長 一つの例としては、工事の壁を使って、そこでPRしたらどうかというご提案があったかと思います。まとまった情報があって、まちづくり、こうしますということが出来るエリアもあれば、まだちょっとその段階にないというエリアもございます。エリアによって、その辺の進捗具合というのが様々でございます。

ただ、にたない委員のほうがおっしゃった、いろいろなところでエリアデザインを知ってもらいたいという今ご意見もありましたので、それについては、我々、区民の方にどうしたら更によく知ってもらえるのか、また、そこに住んでる人たちにどうしたら理解していただけるのかというのは検討させていただきたいというふうに思います。

浅子けい子委員長 他に質疑ありませんか。

それでは、報告事項は終わります。

---

浅子けい子委員長 その他に関して質問はないでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

浅子けい子委員長 ないようでしたら、本日のエリアデザイン調査特別委員会を終わらせていただきます。ご苦労様でした。

午後3時24分閉会